

23 イタリアンライグラスの奨励品種「ヒタチヒカリ」の特性

福島県畜産試験場 草地飼料部
平成12年度畜産試験場成績概要
分類コード08-01-01000000

部門名 飼料作物－草地－品種

担当者 江畑明彦・関 里織・武藤健司・土屋友充・横山正勝 * 1 (* 1福島県畜産会)

I 新技術の解説

1 要旨

福島県畜産試験場において、収量性、生育特性等について標準品種「ヒタチアオバ」と比較しながら2ヶ年にわたり試験及び調査を行い、耐倒伏性及び耐暑性に優れた「奨励品種」として、新たに「ヒタチヒカリ」を選定した。

(1)「ヒタチヒカリ」の来歴

茨城県畜産試験場において「ヤマアオバ」、「ナスヒカリ」等の染色体を倍加して選抜された6母系により、耐倒伏性、冠サビ病抵抗性に優れた長期利用型の多収品種として育成された。

(2)「ヒタチヒカリ」の特性

ア 出穂期は「ヒタチアオバ」並み。(5月19日頃)

イ 中・晩生の4倍体で、「ヒタチアオバ」より直立し、茎が太い。

ウ 耐倒伏性、耐暑性に優れている。

エ 年間乾物収量は「ヒタチアオバ」並みだが、再生草の収量は安定している。

(3)「ヒタチヒカリ」の利用

ア 耐倒伏性に優れているが、茎が太いため、乾草調製よりもサイレージ調製に適している。

イ 耐暑性に優れ、再生草の生育が良好のため、中・長期利用とする。

2 期待される効果

(1)耐倒伏性が優れているため、機械による収穫作業体系の効率向上が期待できる。

(2)種子供給中止となった「ヒタチアオバ」に代わり、耐倒伏性及び耐暑性に優れた中・長期利用型の奨励品種として、安定生産が期待できる。

3 適用範囲

多雪地帯を除く県下全域

4 普及上の留意点

(1)根雪期間が60日を超える地帯の栽培は避ける。

(2)「ヒタチアオバ」と比較して、秋期の晩播適性は優るが、春播種の適性は劣る。

(3)品種の特性を活かすため、適正な施肥量及び播種量を守り、適期刈取を励行する。

Ⅱ 具体的データ等

表1 生育特性（2カ年平均）

	定 越 出			刈 取			1 番 草			3 番 草	
	着 時 草	冬 穂		月 日			草	茎	倒 伏 程 度	雑 草 率 %	病 害 程 度
	勢	性	始	1 番 草	2 番 草	3 番 草	丈 cm	数 2)	3)	4)	3)
	1)	1)	月日	月日	月日	月日					
ヒタチアオバ (標)	7.0	7.5	5/16	5/19	6/16	7/28	129	1,032	7	20.6	6.5
エクセレント (比)	4.5	6.5	5/ 8	5/15	6/15	7/28	120	1,353	8	96.8	—
ヒタチヒカリ	7.0	7.0	5/16	5/19	6/16	7/28	143	806	6	8.4	4.5
ジャイアント	3.0	6.5	5/ 9	5/15	6/15	7/28	126	1,148	7	93.0	—
乙	6.0	7.5	5/11	5/17	6/15	7/28	123	1,270	7	10.2	5.0

注) 1) 播種期を1、収穫期を1とした値

病害: 割合で示す

2) 100gあたりの茎数(本/苗)

— 計算不可

3) 茎又は穂を1、茎を1とした値

4) 茎数収量中に占める割合(平成11年のモデル)

表2 収量

		番草別（2カ年平均）			年間乾物収量		
		1 番草	2 番草	3 番草	H11	H12	2カ年平均
ヒタチアオバ (標)	生草 kg/a	692.8	259.3	97.3			
	乾物 kg/a	101.4	33.2	20.7	179.8(100)	130.7(100)	155.3(100)
エクセレント (比)	生草 kg/a	591.9	207.6	37.1			
	乾物 kg/a	88.8	33.8	8.2	153.2(85)	108.4(83)	130.8(84)
ヒタチヒカリ	生草 kg/a	650.9	271.3	115.4			
	乾物 kg/a	94.3	35.3	22.2	167.8(93)	135.9(104)	151.9(98)
ジャイアント	生草 kg/a	559.1	178.8	33.2			
	乾物 kg/a	80.4	29.6	6.9	132.6(74)	101.1(77)	116.9(75)
乙	生草 kg/a	638.3	228.0	65.9			
	乾物 kg/a	87.6	35.6	14.0	151.2(84)	123.1(94)	137.2(88)

注) 0内は標準品種ヒタチアオバの収量を100とした割合の収率(割得率%)

Ⅲ その他

- 執筆者 : 江畑明彦・志賀 茂
- 主な参考文献・資料 :